

# 図書館だより9月 上水高校図書館

9月に入り、朝晩の風にほんの少しだけ秋を感じる日もありますが、まだまだ日中は残暑が厳しい毎日ですね。今年にはコロナの影響もあって体育祭と文化祭が9月に開催されることになりました。

先生方や生徒の皆様も準備等で忙しい毎日だと思いますが、くれぐれも熱中症には注意をして、たまには息抜きに涼しい図書館へ足を運び、本を借りてみるのも良いと思います。

新しい本も続々と入ってきており、今月は毎年恒例のJSBもあります。

図書館には置いていない本でも、読みたい本があればリクエストも随時受け付けていますので、気兼ねなく声をかけてくださいね。お待ちしております！



**J S B**



上水高校の先生方が上水高校生にお薦めする、JSBの季節が今年もやってきました。

9月10日から、JSBコーナーを設けて先生方のお薦めコラムと共に、図書を展示しています。勿論貸し出し可能です。

JSBを読んで興味を持ったなら、是非覗きにきてください。

蔵書になかった図書も発注しましたので、納品され次第順次展示します。どうぞ、お楽しみに。



## 今月の司書のおススメ本



「ショートショートとってもしずぎな創作ドリル」 田丸雅智

15本の短くて、不思議なお話。そのどれもが途中まで書かれていますが、結末は?? ハテナです。なぜなら結末は、読んだあなたが考えて書いてください、という本なのです。間違いはなし、どんなことを書いても正解。OKです。ぜひ楽しんでみてください。読解力、思考力、文章力が身につけていきそうです。想像力、創造力もかな!?

「ただいま神様当番」 青山美智子

ある日突然、左腕に「神様当番」の文字が浮かび上がり、目の前に現れたわがままな神様。どうやらその神様の願いを叶えてあげないと文字は消えないらしい。それぞれが小さな不満を持ちながら生活している5人の男女。神様に翻弄されつつも笑って泣ける、心温まる5つの物語です。



「ものがたりの家」 吉田誠治

《厭世的な天文学者の住処》《几帳面な魔女の家》《忘れられた孤児の城》... など、住んでみたい空想の家のイラストと美術設定集です。

こんな家で、どんな一日を過ごすだろうと想像しながら見て読んでみましょう。



## 今月の図書館展示

・・・テーマは『敬老の日』

9月21日は敬老の日です。ちょっぴり切ない話からコメディまで、お年寄りが出てくる本をたくさん用意しました。

『夏の庭』 湯本香樹実

「死んだ人って見たことあるか？」きっかけはおばあさんの葬式に行ったという山下の言葉だった。死んだら人はどうなるのだろう。山下と河辺と僕は近所に住む一人暮らしのおじいさんがもうじき死にそうだと情報を聞きつけて、その場面に居合わせようと毎日おじいさんを見張ることにした。おじいさんと知り合うようになってからの子どもたちの心の変化やおじいさんとの距離感が丁寧に描かれていて、ラストは切なくも爽やかな気持ちになる一冊です。



